



民生委員・児童委員

たが民児協だより

第27号

～支えあう 住みよい社会 地域から～

発行者 多賀町民生委員児童委員協議会 事務局 多賀町総合福祉保健センター「ふれあいの郷」内 福祉保健課
電話 0749-48-8115 有線 2-2021 E-mail fukushi@town.taga.lg.jp

町長のあいさつ

多賀町長 久保 久良

この度、5期目の町政の舵取りを務めさせていただくこととなりました。町政発展のため、全力を尽くす所存でございますので、皆さまの深いご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

民生委員・児童委員の皆さまにおかれましては、平素より町民の皆さまが安心して暮らしていただけるように、高齢者への見守り・声かけなどのきめ細やかな支援や、子ども達の登下校でのスクールガードとしての温かい声かけなど、日々献身的にご活躍いただいております。皆さまに心より敬意と感謝を申し上げます。

今後とも、「支えあう 住みよい社会 地域から」のスローガンに則り、日頃から地域の方々の身近な

相談相手としてご活躍いただくとともに、「みんなの絆で支えあう安心と温もりのある福祉のまちづくり」実現のため、委員の皆さまに一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。



いのちを守る

多賀町民生委員児童委員協議会

副会長 小山 茂次

今年の元日に発生した能登半島地震は、長年地域に住み慣れた人々を一瞬にして非日常の現実追い詰めました。その衝撃と恐怖を私達は今も忘れることができません。

自然災害の猛威は、本来守られるべき子ども達や高齢者、障がいのある人達の命までも奪ってしまいました。現在も地域の人々、行政や多くのボランティアの人達によって救助復興作業が進められています。

地震直後の報道番組で、現地民生委員・児童委員の方へのインタビューがありました。自身も被災されながら『忘己利他』の活動をされている姿に頭が下がる思いでした。その活動たるや私の想像を遙かに越えるものでした。

委員任期2年目の今年、私達は『いのち・防災』を主眼においた取り組みを行います。前触れ無く襲

いかかる自然災害に対して民生委員・児童委員はどのように対応すれば良いのか…。私達は、過去に被災された地域の民児協と交流を持ち現地見学、意見交換などを通して地域防災のあるべき姿を学びたいと考えています。民児協の立場から行政に働きかけ、自治会や各組織と協力し『予防対策』『緊急対応』『事後活動』について三者一丸となった『いのちを守る活動』を実践したいと思います。

いつ、どこで、誰が遭遇するかも知れない自然災害、町民一人ひとりの共通認識とご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



身近な相談相手として



昨年の秋、多賀小学校4年生と大滝小学校4～6年生を対象に、民生委員・児童委員について授業をする機会がありました。

授業では、私達が地域でどのような役割を担い活動しているのか、子ども達に知ってもらうことを中心に進めました。

そして、私達は地域の身近な相談相手であることを伝えました。

子ども達は、よく話を聞きよく考えてくれていました。授業の終わりには、『びわっ湖ミンジー』の手作り缶バッチとクリアファイルを、一人ひとりに渡しました。今も缶バッチを学校のカバンにつけていたり、クリアファイルを授業で活用している子どもがいます。

『びわっ湖ミンジー』とは、民生委員・児童委員を多くの方に知って頂くために作成された滋賀県独自

児童青少年部会 部会長 岸邊 秀子

のキャラクターです。私達はミンジーとともに、いつも皆さんの隣にいる身近な存在でありたいと思っています。



多賀小学校での授業の様子



杉の子コンサート

昨年9月2日(土)に第2回杉の子コンサートが多賀結いの森ささゆりホールで開催されました。多賀中学校吹奏楽部の皆さんと杉の子会の利用者さんのコラボレーションです。「響きあう 伝えあう 感動しあう」をテーマに先ずルパン三世のテーマ'78からスタートして、途中休憩をはさんで全9曲、その8曲目は杉の子会の利用者さんも日々練習されている、ゆずの名曲「栄光の架橋」を吹奏楽部の演奏にあわせての大合唱。

このコンサートが実現したのは、新型コロナウイルス感染症の影響で練習の成果を披露することができないと部員の方から聞いた家族さんからの要望で叶いました。このような時期に何かできないかと私達も協議して実現しました。

当日は部員の家族さんや杉の子会の家族さんも含めて町内の方もたくさん来てくださいました。私達障がい者福祉部会としても、できて良かったとホッとしています。

今ではコロナ感染の規制も緩和されましたが、その当時の部会ではできない事ばかりでした。今年も

障がい者福祉部会 部会長 小井戸 善光

8月31日(土)に第3回目を開催させていただく予定です。一人でも多くの方に来ていただきたいと思っています。



高齢者が安心して暮らせるお手伝いを

高齢者福祉部会 副部会長 吉岡 章

民生委員・児童委員の活動を通して、高齢者の一人世帯が最近徐々に増えているように感じます。特に子どもはいるが、仕事の関係や遠方に暮らしているなど、普段は頼る親族がいない世帯が多いようです。そのような世帯は日頃から見守りが必要ですが、民生委員・児童委員が毎月見守り訪問をしているだけでは不十分であり、町の福祉関係者、字の福祉会や隣近所の協力が不可欠であるように感じます。

高齢者福祉部会では、高齢者の困りごとの解消をするお手伝いができるように、部会で話し合いをして活動内容を決めています。また、各字において開催しているサロンの見学や地域の皆さんに高齢者の見守りの協力をお



願いするパンフレットの作成、配布なども行っています。

今後も今までどおり右記のような活動も継続して実施します。



栗栖のサロン見学

- ・各字のサロンの見学研修
- ・災害時等要支援者台帳の確認修正
- ・緊急医療情報キット「命のバトン」の配布と記載事項の確認
- ・誕生日メッセージカードの活用

県外研修に参加して

広報部会 副部会長 酒居 ひとみ

昨年6月16日、民生委員・児童委員として初めての県外研修に参加しました。行き先は阪神淡路大震災の地、「北淡震災記念公園」と「人と防災未来センター」です。

昨今、大きな地震が各地で起こり、今年1月にも能登半島で震度7の大地震があったばかりです。その惨状はテレビやネットなどですぐさま伝えられ、なすすべもない自然の脅威を見せつけられた思いでした。

阪神淡路大震災以降、地震や大雨などによる自然

災害に対する人々の意識はずいぶん変わってきたように思います。「百年に一度の」や「今までに経験したことがないような」という言葉をよく聞くようになりました。また、ボランティアの方々の活動や災害支援金など、誰もが自分にできることをしようと行動を起こしています。

いつどこで起こるかわからない自然災害の被害を少しでも減らせるよう、私達に何ができるのか、今やっておくことは何なのか、多くのことを考えさせられる研修となりました。



北淡震災記念公園での研修の様子

活動報告



主任児童委員は、原則として区域を直接担当せず、市町や児童相談所等関係機関と連携を密にし、区域担当の児童委員との連携調整および児童委員の活動に対する援助と協力を行うこととされています。

具体的には、学校や園等を訪問し、先生のお話を伺い、子ども達の様子を参観させていただきます。前回の訪問時は元気がなかったけど、今回は元気になってよかったと思いながら見ています。参観する時間が短かった時は、子どもに「はやっ」と言われ笑ってしまいました。多賀町の子ども達は、素直でいい子

主任児童委員 吉川 裕子

ばかりで訪問がとても楽しみです。

2月に主任児童委員の研修があり、不登校の子どもへの寄り添い方についてグループ討論を行いました。その中で実際に経験した人のお話で、「しんどい時は親にも言えない」、「心を癒してくれたのは近所のおばちゃんだった」と明かしてくれました。そして、夜の散歩と本の推薦が力になったそうです。そのおばちゃんは、不登校そのものには触れられなかったそうです。参加者からは「そんなおばちゃんがええよね」とグループの誰もが熱心に聞き入った良い時間でした。



「厚生労働大臣表彰」受賞

多賀町民生委員児童委員協議会が受賞しました。これは、歴代の委員の方々の町民に寄り添った活動の成果と受け止めています。今後も受賞を励みに、地域の活動に努めて参ります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

各地域の民生委員・児童委員(任期:令和4年12月1日~令和7年11月30日)

担当地区	氏 名	担当地区	氏 名	担当地区	氏 名	担当地区	氏 名
多 賀	神鳥 幹彦	土 田	関森 歳司	木曾・脇ヶ畑	多賀 節子	小原・霜ヶ原	大矢 恵子
	樋口 賢二	四 手	宮野由紀絵	芹 谷	藤本 義孝	佐 目	福戸藤佐夫
	森 光江	八重練・大岡	小菅 甚一	川 相	神細工 操	南後谷	中村鉄次郎
	若林 吉郎	久 徳	小財 実	一ノ瀬・佛ヶ後	小山 茂次	大君ヶ畑	澤村 恵子
	小井戸善光		土坂 淳子	藤 瀬	辰野 則夫	グリーンヒル多賀	大矢 顕治
尼 子	岸邊 秀子	月之木	高橋 路子	富之尾・檜崎	酒居ひとみ	神 田	西谷 亜耶
猿 木	古川三千代	栗 栖	栗本 泉	萱 原	川岸 澄子	主任児童委員	吉川 裕子
敏満寺	福本 正澄	一 円	一圓 弘明	大杉・樋田	山本喜久代		富田 愛子
	吉岡 章	中川原	野村 惣藏				

多賀町民生委員児童委員協議会組織(役員) ~協議会の運営上の計画や課題などについて協議します~

会長	野村 惣藏	副会長	小山 茂次	副会長	多賀 節子
会計	若林 吉郎	監事	山本喜久代	監事	小菅 甚一
児童青少年部会長	岸邊 秀子	高齢者福祉部会長	小菅 甚一	障がい者福祉部会長	小井戸善光
広報部会長	福戸藤佐夫	主任児童委員	富田 愛子		